

・第 117 回普通鋼分科会

開催日：1 月 24 日

出席者：古山主査ほか、12 名。

1. JIS/ISO の整合化検討
(JIS G 3106, 3115, 3193, 3303)
2. 鉄骨品質問題に係わる規格改正について (JIS G 0901, Z 方向特性, 建築用鋼材)

日本圧力容器研究会議

・第 68 回 JPVRC 圧力容器用鋼材
専門委員会

開催日：2 月 18 日

出席者：平委員長ほか、8 名。

1. JPVRC 運営委員会報告
2. 新規テーマアンケート調査結果
3. TMCP 型 Cr-Mo 鋼板の報告

4. TMCP による HT 60~100 の研究開発状況報告
5. 文献調査のフォーマット等について

・水素脆化専門委員会

開催日：1 月 24 日

1. 第 25 回水素脆化専門委員会 TG 6
(出席者：武田委員長ほか 12 名.)
1) 共同研究「C- $\frac{1}{2}$ Mo 鋼の水素侵食材の材料評価」進捗状況報告
2) 共同研究追加試験の検討
3) 共同研究試験結果まとめフォーマット案について
4) 話題提供予定について
2. 第 8 回水素脆化専門委員会 TG 7
(出席者：飯田主査ほか 11 名.)
1) 文献抄録個別検討
2) 活動情報「湿潤硫化水素環境における鉄鋼材料の割れ感受性評価」紹介

・第 5 回新環境統合都市研究委員会

開催日：1 月 21 日

出席者：三宅委員長ほか、11 名。

1. 報告書の構成案に基づく、各担当分野の原稿案および原稿内容の発表と討議
2. パイロットシティ (先行的実験都市) の創造に関する討議

・第 6 回新環境統合都市研究委員会

開催日：2 月 18 日

出席者：三宅委員長ほか、10 名。

1. 報告書原案に関する討議
(1)パイロットシティのイメージ
(2)モデル都市のエネルギー需要と供給
(3)エネルギー削減の試算
(4)CO₂削減量の試算
2. 今後の進め方

「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」

(昭和 20 年より 30 年代初頭まで)

発刊に際して画像情報資料 (写真, その他)
提供お願いについて

本会、戦後技術史調査小委員会では、現在「戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展」と題する報告を近々発刊を目標に第 1 次原稿を作成致しました。スケルトンは、下記に記すとおりであります。現在、特に第 1 次合理化計画で建設された設備関係の写真や各種調査団の記念写真等探索中ではありますが中々入手困難で困っております。そこで会員の方々の中で上記の画像情報資料をお持ちで提供いただける方は、下記宛ご連絡いただきたくよろしくお願い致します。なお、本報告書は、本文 200 頁、資料 100 頁にわたる膨大なもので、本年 9 月頃刊行を目標に鋭意編集作業を進めております。鉄鋼技術史の空白を埋める貴重な文献となるものなので、是非ご期待下さい。8 月頃には予約を受け付ける予定です。

なお、戦中の鉄鋼技術については昨年 3 月に「戦前軍用特殊技術の導入と開発」を出版しておりますので御関心の方は御購入をお願い致します。

記

戦後復興期における日本鉄鋼技術の発展

(昭和 20 年より昭和 30 年代初頭まで)

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 第一部 日本鉄鋼業の戦後復興の端緒 | 第三部 近代化への門出 |
| 第一章 生産の再開と鉄鋼業再建の指針 | 第一章 朝鮮動乱の勃発と鉄鋼業 |
| 第二章 賠償問題の変遷 | 第二章 鉄鋼業第一次合理化計画 |
| 第三章 鉄鋼生産回復の足取り | 第三章 第一次継続合理化計画 |
| 第四章 経済諸制度の变革 | 第四章 第一次合理化計画 (一次継続を含む) を推進した税制措置 |
| 第五章 高炉調査団・平炉調査団の派遣 | 第五章 外国技術の導入と設備機械の輸入 |
| 第二部 鉄鋼業の自立化の努力 | 第六章 第一次合理化計画 (一次継続を含む) の実施による効果 |
| 第一章 ドッジ・ラインと鉄鋼業 | 終章 |
| 第二章 鉄鋼業の自立化方策 | |
| 第三章 米国鉄鋼技術者の指導 | |
| 第四章 訪米鉄鋼業調査団の派遣 | |
| 第五章 産・官・学の共同研究体制の確立 | |

<連絡先> (社)日本鉄鋼協会 図書・資料室 渡辺
〒100 東京都千代田区大手町 2-7-1 日本ビル別館 10 F
TEL (03)3241-1228 FAX (03)3241-3941